

# 『火山防災』を知ろう!!

7月24日、桜島で爆発的な噴火が発生し、噴火警戒レベルが最も高い「レベル5」に引き上げられたニュースはかなり衝撃的でした。そこで、今回は『**火山防災**』について紹介します。とは言え、関西周辺に活火山がありませんので、『火山防災』の中でも観光先で遭遇する可能性の高い「**火山灰から身を守るための対策**」について紹介します。

◆**防塵マスクを着用するなど、火山灰を吸い込まないようにしましょう。**

火山灰はとても小さいので、空気と一緒に肺の奥まで入っていきます。特にぜんそくや気管支炎の人は呼吸が苦しくなることがあるので、注意しましょう。マスクが無い場合は、濡らしたハンカチでも代用できます。



◆**火山灰が目に入ったら、手でこすらずに、水で流しましょう。**

火山灰が目に入ると、目のかゆみや痛み、充血が起こったりします。目の表面に傷ができると、結膜炎になってしまうこともあります。コンタクトレンズを使用している方は、コンタクトレンズをはずして、眼鏡を使うようにしましょう。



◆**交通事故に気をつけましょう。**

火山灰が降ると見通しが悪くなり、大変危険です。道路に積もった火山灰は滑りやすく、ブレーキがききにくくなります。路面にたくさんの火山灰が積もっている場合は、運転を控えましょう。



(引用：首相官邸 HP より)

関西圏に住んでいると、火山被害が日常にないために火山防災の知識が乏しく、観光先で思わぬトラブルに見舞われてしまいます。“知っているだけで防ぐことができる”こともあるので、ぜひ覚えておきましょう。  
〈防災士 荻野 勝也〉